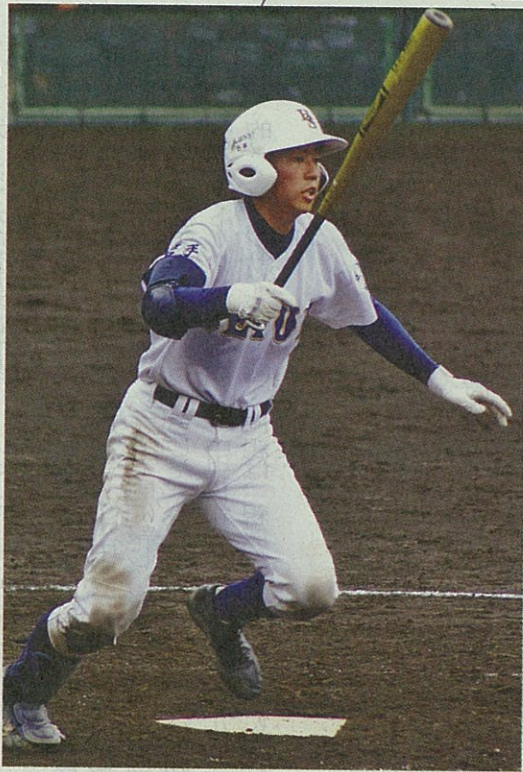


# 花北青雲 五回に猛攻



## 県営

頼れる主砲、3安打3打点。花北青雲・伊藤大樹(3年)。一回、2死三塁から外角のスライダーを中前にはじき返す先制打。4点リードの五回には、2死一、三塁から試合を決定付ける2点二塁打を放った。五回に打者一巡の猛攻で5



【久慈―花北青雲】花北青雲五回2死一、三塁から4番伊藤が2点二塁打を放つ―県営球場

点を挙げ、2日間に及ぶ激闘に決着をつけた。「これまでの成長を結果で示してくれた。沢田靖永監督の表情を緩ませた勝利の立役者は、3打数3安打3打点の4番伊藤大樹(3年)。一回、2死三塁から外角のスライダーを中前にはじき返す先制打。4点リードの五回には、2死一、三塁から試合を決定付ける2点二塁打を放った。五回に打者一巡の猛攻で5

が、指揮官から「このまま1-0で勝とうなんて思っていないよな」と激励を飛ばされたナイン。前日に逆転本塁打を放った伊藤が「後ろにつなげることを考えた」と語るように、一人ひとりがチームバッティングを意識してつなげた勝利だ。

両校が死力を尽くした24インニングの攻防。久保田圭一主将(同)は「守備から攻撃につなげる自分たちの野球ができた」と連日の無失策に胸を張り、「勝ちたいという思いがきのうより強く、楽しい試合ができた。集中力を維持して次も戦いたい」と笑顔を輝かせた。

県営球場

◇3回戦(引き分け再試合)

久慈	0	0	0	0	0	1	1	1	3
花北青雲	1	0	0	0	5	0	0	0	6

(久) 菊地―崎廣  
(花) 晴山、大矢―伊藤  
▽二塁打=久保田、大矢、伊藤(花)  
北澤、菊地、高際(久)

## シード4校姿消す

### 強豪私立は順当勝ち

第94回全国高校野球選手権岩手大会は、前半の躍が目立ったほか、22年ぶりの延長引き分け再試合などの熱戦も。甲子園切符を手にするのはどこか、球児たちの夏は後半戦に突入する。

シード4校、ノーシード12校が16強進出。シード校では、春季県大会を制した盛岡大附、準優勝の一関学院、昨夏覇者の花巻東の強豪私立が、いずれも投打で圧倒し順調な勝ち上がり。公立勢で唯一残った水沢は、2試

合で計22点を奪うなど打線に爆発力がある。ノーシードの公立勢では、大東がシード盛岡三を撃破し波に乗った。ここまで2試合を無失点と投手陣も充実している。主戦菅原優(3年)の好投が光る一関工は、シード盛岡市立に競り勝ち勢いづく。花北青雲は、久慈との延長十五回引き分け再試合を物にするなど粘り強さを見せた。沿岸勢では大船渡、大船渡東、大槌が地力を発揮し、4回戦に進んだ。後半戦ではさらに、各校の意地と意地とがぶつかる白熱した試合が予想される。

# 学院、花東の戦力充実

## 波に乗る水沢、大東

【Aブロック】盛岡大定。シード盛岡市立を下附が2試合計27安打の強打に加え、主戦出口心海(3年)も専大北上戦で1失点完投と投打に安

【Bブロック】公立勢同士が激突する。シード盛岡三を撃破し、主戦吉田悠平(3年)ら投手陣充実の大東が台風の目になるか。引き分け再試合を制すなど、ここ一番の粘り強さが光る花北青雲は、同じく延長戦を勝ち上がった大槌とぶつかる。

【Cブロック】第2シードの一関学院は、強化

【Dブロック】連覇を狙う花巻東が頭一つ抜けて出ている。2試合で7盗塁と持ち前の機動力を発揮。プロ注目の剛腕大谷翔平(3年)も投打に活躍するなど隙がない。昨夏4強の盛岡四も久慈工、黒沢尻工との接戦を物にした勢いがある。

## 4回戦以降の組み合わせ

